
キラおん！

中町悠太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キラおん！

【ISBN】

N47990

【作者名】

中町悠太

【あらすじ】

o v e r d r i v e原作のキラ キラ

かきふらいさん原作のけいおん！

ふたつの作品が合わさったクロスオーバー！

d2bこと第一文芸部とHTTこと放課後ティータイムの
グダグダになりながらのライブまでの出来事
文章の疎い作家ですが
ぜひご覧ください！

プロローグ

「これはまだ僕たちが高校生だった時の話

「対バンをする?」

「そうだよ! 対バンだよ! 鹿くん!」

そう目の前にいるきらりは叫んだ

ちなみに鹿くんと言うのは僕の愛称で前島鹿之助まえじましかのすけだから鹿くん。まあきらりしか呼んでないあだ名だけ。

「でもきらり、やるにしてもどこでやるの?」

僕よりかはだいぶまともな質問（とこりょう）（とにかく僕がオウム返しだつただけだけど）を千絵姉（いづるきおねえ）こと石動千絵（いしてみちえ）が投げかける。

「あっちの学校だよ!」

「あっち? どつこいつことだ?」

「学校つてことは高校生との対バンなの?」

今度は櫻原紗里奈（さりな）が質問する

「そうだよ!」

「ん? そこまで決まってるってことは...」

「なあきらり、もうそれって決定事項か?」

僕はノロの意を示す言葉が聞きたかったのだが、きらりの口からは

「もちろん!」

YESの意を示した

これが、僕たち第一文芸部と

全く逆のポップスバンド

放課後ティータイムの

出会いだった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4799o/>

キラおん！

2010年10月24日03時28分発行